

大学コンソーシアム京都
他大学科目受講制度
「単位互換」

京都の大学すべてが
きみのキャンパス



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

「単位互換」って??

「単位互換制度」で他大学の科目が受講できます

大学コンソーシアム京都 単位互換

検索

詳しい科目や内容については、Webに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

単位互換制度について

世界遺産を舞台にしたPBLなど、多様な科目を受講できます。

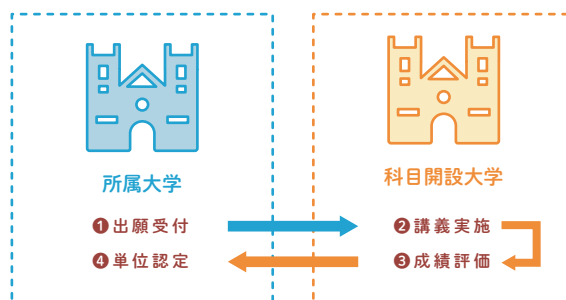
単位互換制度とは、単位互換包括協定に加盟している大学・短期大学（以下、大学）に所属する学生が、他の加盟大学が開講する科目を履修でき、修得した単位が所属大学の単位として認定される制度です。大学コンソーシアム京都の単位互換制度には、京都地域を中心に約50の大学・短期大学が加盟しています。

加盟大学・短期大学からは、講義形式の科目、実習やPBL^(※)を取り入れた科目、また、学生の幅広い関心や興味に応じて、文化、芸術、政治、経済、自然科学など、多種多様な学問分野にわたる科目が提供されています。

年間で履修できる科目数や取得できる単位数は、各自の所属する大学（学部）によって取扱いが異なりますので、事前に所属大学で確認してください。

なお、受講料は無料ですが、受講科目によっては、所定の実習費や材料費等が必要となる場合があります。

※PBL（Project Based Learning）とは、課題発見・解決型の能動的学習のことです。



単位互換科目のシラバスと出願

1. 単位互換科目のシラバスについて

単位互換科目のシラバスは、単位互換の専用システム「e京都（いーこと）ラーニング」から確認できます。テーマ、授業形式、開講曜日・講時、開講大学などから検索ができます。



履修登録・学修支援システム
e京都ラーニング
(いーこと)

e京都ラーニング

検索

2. 出願について

(1) 出願期間について

単位互換科目は、前期は3月下旬から4月上旬に、後期は9月上旬から中旬にかけて出願期間を設けております。後期出願を実施しない大学もあります。なお、出願期間は所属大学によって異なりますので、必ず所属大学に確認してください。

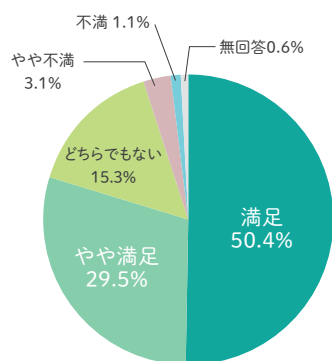
(2) 出願方法について

単位互換科目への出願は、e京都ラーニングシステムから行います（※立命館大学、龍谷大学、早稲田大学の学生は除く）。

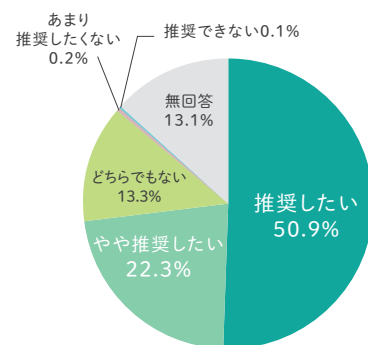
詳細な手順は、出願手続のページをご覧ください。

※立命館大学、龍谷大学、早稲田大学の学生は、各大学のシステムより出願を行います。詳細な手続については、所属大学に確認してください。

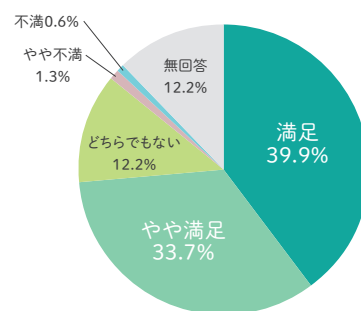
単位互換科目受講者アンケート(2016)



【授業の内容について】



【知人や友人への参加の推奨】



【全体の満足度】

■単位互換制度参加大学一覧(2018年度)

国立大学▶ 京都大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学

公立大学▶ 京都市立芸術大学、京都府立大学、京都府立医科大学、福知山公立大学

私立大学▶ 池坊短期大学、大谷大学、大谷大学短期大学部、京都華頂大学、華頂短期大学、京都外国語大学、京都外国語短期大学、京都学園大学、京都経済短期大学、京都光華女子大学、京都光華女子大学短期大学部、京都産業大学、京都女子大学、京都精華大学、京都西山短期大学、京都造形芸術大学、京都橘大学、京都ノートルダム女子大学、京都美術工芸大学、京都文教大学、京都文教短期大学、京都薬科大学、嵯峨美術大学、嵯峨美術短期大学、種智院大学、成安造形大学、同志社大学、同志社女子大学、花園大学、佛教大学、平安女学院大学、平安女学院大学短期大学部、明治国際医療大学、立命館大学、龍谷大学、龍谷大学短期大学部、大阪医科大学、早稲田大学

単位互換科目について

単位互換科目には3つの開講形態があります。

プラザ科目

キャンパスプラザ京都で開講される科目です。単位互換のために開設された科目が多く、各大学の特徴のある科目が開講されます。

オンキャンパス科目

科目開設大学のキャンパスで開講される科目です。他の大学のキャンパスで学ぶことができます。

eラーニング科目

e 京都ラーニングシステムのVOD (Video On Demand) 講義で学習する科目です。VOD 講義と対面授業の両方を行う科目もあります。

単位互換科目のテーマ分類について

単位互換科目は、大きく下記A～Iの9つのテーマに分類されており、興味のあるテーマから科目を探すことができます。

なお、科目内容によっては1つのテーマだけで表現できない横断的な内容のものが多数ありますので、必ず各科目のシラバスを参照の上、科目を選択してください。

	A 京(みやこ)を学ぶ	京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群
	B 歴史を学ぶ	日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史観を養う科目群
	C 文化・芸術を学ぶ	文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群
	D ことば・言語を学ぶ	語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現力や語学力を身に付ける科目群
	E 教育・人生観を学ぶ	心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群
	F 生活・健康・スポーツを学ぶ	暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルに関わる知識を得る科目群
	G 自然・環境を学ぶ	環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群
	H 現代社会を学ぶ	法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多角な観点から現代社会を観察する科目群
	I 国際関係を学ぶ	法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群

特色ある科目

プラザ推奨科目

「プラザ推奨科目」とは、プラザ科目のうち、大学コンソーシアム京都が特に特色があると認定した科目で、学生に受講を推奨している科目です。複数の教員や実務者等のゲスト講師によるチェーンレクチャーやリレー講義を実施する科目、また、フィールドワークや PBL、実習などを取り入れた学生が主体的・能動に学ぶ演習系の科目が開講されます。各大学が自信を持って提供している非常に興味深い科目ばかりです。単位互換で新しい学びを体験したい方は、ぜひとも受講してください。

京都世界遺産PBL科目

プラザ推奨科目のうち、京都の世界遺産をフィールドに PBL を展開する科目が「京都世界遺産 PBL 科目」です。本科目は、各大学と「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」、「大学コンソーシアム京都」が協力して運営しております。授業では、主にグループでの学習を通じて、世界遺産やその周辺地域が抱える課題を自らで発見し、解決案を提案します。他大学の学生と協力しあいながら、世界遺産の関係者との対話を通じて課題解決に取り組むという、コンソーシアムの単位互換ならではの科目です。他大学の学生と協働したい方、京都や文化遺産に興味のある方は、ぜひとも受講してください。

受講生インタビュー

どんな授業があるの？受講生の声

※ 掲載科目は2017年度の開設科目です

※ 受講生の所属・学年は2017年度時点のものです。

科目名 ▶ 天文学と私たち～神山天文台からのアプローチ～

開設大学 ▶ 京都産業大学 テーマ ▶ 自然・環境を学ぶ

田中 雄大
京都産業大学
理学部宇宙物理・気象学科 2年生



この講義では、私たちに身近な星である太陽、月、その他の惑星についての知識や、星の誕生から消滅、天文学の歴史といった宇宙についての幅広い知識を身につけることができました。実際に星を研究している方や、人工衛星に搭載するカメラを設計された方などがゲスト講師に来てくださるので、宇宙に関わる仕事をされている方の生の声も聞くことができ、大変有意義でした。



塚本 三喜
同志社大学 文学部国文学科 2年生

科目名 ▶ 観光人類学

開設大学 ▶ 平安女学院大学 テーマ ▶ 歴史を学ぶ

この講義は一回の授業につきグリム童話の一話を分析し読み解いていきます。古代神話や聞いたこともない祭や風習についてなど、少し難しい内容でも先生が分かりやすく教えてくれたのでしっかりと理解ができました。古代神話やヨーロッパの祭などとも関連付けたお話が聞けますし、とても暖かくユニークな先生なので、皆さんもきっと引き込まれてしまうと思います。講義で得た多面的な視点を持って、ヨーロッパの童話だけでなく日本の古典の研究など自分の学部での学びに活かしていきたいです。



比叡山延暦寺 と 京都文教大学

「お山」の魅力を探る・伝える

京都世界遺産
PBL科目

比叡山の魅力を自らの五感で感じ取り 学生の視点で発信する

比叡山延暦寺と京都文教大学による授業は「「お山」の魅力を探る・伝える」をテーマに、比叡山に古くから伝わる千日回峰行が京都の人々によってどのように支えられているかを学生たちの視点で取材し紹介するもの。広くは知られてこなかった支え手に光をあてた映像作品を制作しました。授業が始まった頃の現地学習中に学生・お寺・大学のそれぞれにインタビューを行いました。



比叡山延暦寺
教科部主事
武田 功正さん



京都文教大学
総合社会学部教授
手嶋 英貴先生



京都文教大学
総合社会学部
総合社会学科3年
伊藤 すずかさん

目立つところだけが素晴らしい のではないことを伝えたい

伊藤さん：私は滋賀出身で地元にもかかわらず比叡山のことはあまり知りませんでした。だからこそ知ってみたいという気持ちがあり、受講を決めました。歴史を学ぶだけでなく実際にお勤めに参加したり、千日回峰の様子を見たり、普段では絶対にできない体験ができると思いました。

手嶋先生：前期の期間に千日回峰行という難行がちょうど行われており、その最後の方に京都大廻りという特別な修行があります。私としてはお行の邪魔にならないか心配はありましたが、次いつ同じ取材ができるかわからないような貴重な機会と考え、お願いしました。

武田さん：ほぼ毎日のように行者さんが京都市内を歩かれるというのは非常に珍しいですし、良い機会だと思いました。京都の中の比叡山延暦寺というのは、京都からは仰ぎ見る、見えるけれどもやはり少し遠く感じるといった普通のお寺とは違うイメージを持たれていると思います。ですから、もっと多くの方に親しんでいただきたく、また是非学生さんにも知っていただきたいと思い、ご協力をしました。

手嶋先生：最後には8分程度の映像作品を作ります。今までマスメディアにも取材されたことはないようなものに光

を当てたいと思い、行者さんの周りでお行を支えている方々を主人公にしたものを考えています。

武田さん：行者さんに光が当たっている映像はたくさんあります。実際には、修行をする行者さんの生活を支えていく、例えば装いにしても山から降りた時ドロドロになっているのをきれいにしたり、食事や休憩など生活しているところがあるわけです。そういった見えない部分をどんな人が支えているのかを知っていただきたいし、そういう部分が人間の社会でもあるので、目立つところだけが素晴らしいのではないということを知り人々にも理解してもらいたいです。ですからマスメディアではなく、学生さんにこういうところに焦点をあて発信していただくことは、意味があると思います。

実際に感じたことを 学生の視点で捉え形にする

伊藤さん：昨日、実際に行者さんの周りでお行を支えておられる方々を初めて拝見しました。行者さんは歩く距離が長く大変な修行なので、背後から棒のような道具で押して一緒に歩く人がいたり、信号待ちで椅子を広げる役の方がいたり、様々な役割の方がたくさんいて本当に驚きました。

手嶋先生：教室の授業と全く違い、その場に立って感じる事ができることは学生にとって良い刺激になると思います。自分の五感で学びの材料を掴み取っていくことが大切です。学生たちは修行の様子を見て迫力に圧倒されたと言っていました、その迫力は一体どこからくるのだらうと考えていくところに教室の学びとは違うものがあります。

武田さん：京都というところは、古い歴史があると同時に新しく変化もしている多層的な街です。色々なところに目をあててみると、もっと興味深い部分があると思います。学生さんにはいろんな視点から見ていただいて、ご自身で



発見していただきたいと思うし、そういうことができるのが京都だと思います。

手嶋先生：特に京都は圧倒的に文化の幅が広いと思います。世界的観光地という顔をもっているが、同時に杖の音を響かせながら歩く行者さんの姿や、人々が昔からの生活をしている姿がちゃんとあります。その瞬間に巡り会うことは世界中の都市をみてもなかなかないと思います。そういったことを感じて、学生たちの視点で「千日回峰を支える京の人々」を具現化できればと思います。

伊藤さん：動画を通して、千日回峰行や比叡山延暦寺の魅力をたくさんの人に伝えられるといいなと思います。

－受講生からのメッセージ－

この科目に出会わなければ、京都の魅力をあまり知らないまま過ごしていたかもしれません。こうして学ぶ機会があることはとても幸せなことだと思います。皆さんも、ぜひこの機会を利用して、自分の学びを楽しんでください。



担当教員からの一言

【科目名】プロジェクト科目(テーマ)「お山」の魅力を探る・伝える / 【担当】手嶋 英貴 教授

京都ではむかしから、たんに「お山」といえば比叡山のことをさすほど、その存在は都のひとびとにとって近いものでした。法然や親鸞、栄西、道元、日蓮など、ごんにちの仏教宗派の祖師たちが若き日に学んだことで「日本仏教の母山」ともよばれています。本授業では、そうした比叡山がもつ魅力を現代の大学生ならではの視点から探っていきます。

また、比叡山には、世界遺産「古都京都の文化財」を構成する社寺の中では唯一、寺のほぼ全体が山の上に存在します。この授業では、そうした個性をもった比叡山延暦寺より提示される課題をクリアするため、有意義なアイデアや具体案を生み出すことを目指します。

上賀茂神社の魅力を伝えるため 学生主体で地域・大学を巻き込み お祭りをつくる

これまで様々な形で連携をしてきた上賀茂神社（正式名称：賀茂別雷神社）と京都産業大学によるこの授業の目標は、「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」をテーマに、「水」をキーワードにした新しい上賀茂神社のお祭り「賀茂の水まつり」を盛り上げること。京都の複数の大学の学生たちがチームとなって実践的なフィールドワークの中で課題解決に取り組みました。水まつりを終えた学生・大学・神社のそれぞれにお話を伺いました。



賀茂別雷神社
（上賀茂神社）
権禰宜
かみやま
神山 拓也さん



京都産業大学
文化学部教授
若松 正志先生



立命館大学
産業社会学部
現代社会学科 2年
宮井 裕生さん

講義型の授業では得られない 面白さと難しさ

宮井さん：大学ではフィールドワーク型の授業はほとんどありません。去年、PBL科目の仁和寺の授業に参加し、自分の考えたものを実際に実行していくことができ、そこに面白さを感じました。今回の上賀茂神社の授業は、「水まつり」に向けて、学生の手で盛り上げてほしいという明確な目標があり、実現に向けて実際に取り組んでいけるといふ点に惹かれ受講を希望しました。

神山さん：実際にやってみてどうでしたか？



宮井さん：しんどかったです（笑）。少人数でいろんなアイデアを出しましたが、やりたいことと、現実的にできることが実際には異なりました。保健所の許可やコストの問題、お祭りとしての意味があるのかなど、課題点は言い出したらきりがありません。そこには限られた期間で何をすべきなのかという難しさがありました。振り返ってみると、この授業を通して自分たちにできることをつきつめ実現を目指すという感覚を得た気がします。

若松先生：短い期間での企画や広報活動は難しかったですが、色々な人や団体を巻き込むということがとても大事なことで感じました。PBLチームが直接関わっている部分

だけでなく、神社さんから地域の方に声をかけていただいたり、産大のボランティアサークルも呼び込んだりして、最終的にはスタッフとして50人くらい集まりました。

神山さん：人海戦術ですね。神社の職員だけではどうしても人手に限界があります。一人でも多くの学生さんが参加して下されば更に色々なことが出来ると思います。ただ人数が多い分、何処の誰が何時に来て、何時までいられるのか、などの情報が前日まで集まらず、まとめるのは大変でした。

若松先生：課題も多くありましたが、これをきっかけに上賀茂神社に関心を持ち巫女さんをされた学生もいたようで、神社と学生を繋ぐことがこの授業を通して出来たことは良かったと思います。そういう積極的な繋がりがどんどん増していければと思います。

学生のアイデアを活かし 次へ繋げることができる場

若松先生：大学コンソーシアム京都で行うPBL科目は、大学も学部も違う学生さんが集まって、それぞれの異なるアイデアを出し合っています。大学を越えて様々な学生と知り合えるところが良いところですね。

神山さん：既存概念にとらわれない学生たちは斬新な発想をしてくれます。水まつりは比較的新しいお祭りですし、そのような若い発想で盛り上げて欲しいという想いがあります。

宮井さん：僕たちがアイデアを出して、すぐに否定はせずに、それを活かして「こうなんじゃないか」という、先生や神山さんの度量の大きさに助けられたと思います。アイデアを出しやすく、それを次に繋げることができました。

神山さん：若い発想はとても刺激になります。学生さんには、少しでも神社に興味を持って頂きたいです。社寺仏閣が周りに多い京都で学んでいますので、もっと色々な社寺仏閣へ気軽に足を運んでいただき、そしてそれぞれの雰囲気感を



感じてほしいですね。

宮井さん：京都を代表する世界遺産にふれる機会があるというのは、大変興味深かったです。授業でこうやって関わってみると、神社さんの色々な取り組みや実情を知ることができました。水まつり自体は7月に終わりましたが、また来年の水まつりにも活かせるような企画を後期の間に立案し、その実現に向けて取り組みたいと考えています。

ー受講生からのメッセージー

PBLの授業では、自分たちがやりたいと思ったことを様々な大学から集まった仲間と共に、神社や企業、地元の方々と協力しながら取り組んでいくことができます。ぜひ、受講してみてください！

過去のインタビュー記事はWebサイトに公開中
http://www.consortium.or.jp/special/tani_gokan/interview/

担当教員からの一言

【科目名】京都世界遺産PBL科目～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～／【担当】若松 正志 教授

上賀茂神社（正式名称：賀茂別雷神社）の歴史は非常に古く、由緒ある行事が多数あります。最も有名なものは、5月に開催される葵祭（賀茂祭）ですが、一般の方にはあまり認知されていない行事もあります。みなさんは、上賀茂神社のいくつかの行事に参加し、神社や行事への理解を深め、チームとして、「上賀茂神社と水」について調査し、「賀茂の水まつり」の活性化をひとつの目標に、神社関係者や周辺地域のヒアリング等を通じ、その課題や今後のあり方を探り、広報展開や行事内容等の提案を行い、実施します。この授業で、主体性・考える力・チームで働く力などを、実践的に身に付けてください。

大学コンソーシアム京都のこんな活動もおススメ

京都学生祭典 京都国際学生映画祭 実行委員募集中！

京都からの情報発信と京都地域における大学間、学生間の交流を目的に開催している「京都学生祭典」「京都国際学生映画祭」では、その企画・運営を担う学生スタッフを募集しています。京都、しかも大学生でしか体験できないこの機会に、積極的なご参加をお待ちしています。詳しくは、京都学生祭典、京都国際学生映画祭のホームページをご覧ください。

京都学生祭典

🐦 @KIF_saiten

京都学生祭典は、学生の力で京都を盛り上げようと 2003 年から毎年 10 月、平安神宮前・岡崎公園一帯（京都市左京区）をステージに繰り広げられる一大イベントで、第 16 回を迎えます。京都府や京都市、経済団体、大学が「オール京都」体制でバックアップしているため、大学の枠を越えた学生同士の交流を深められるだけでなく、企業や行政の方をはじめとする社会人との接点も豊富で様々な経験ができます。



京都学生祭典実行委員会（平安神宮前で）

京都国際学生映画祭

🐦 @kisfvf

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭で、第 21 回を迎えます。国内外を問わず、広く学生監督の映画・映像作品をコンペ形式で募集し、選考した作品を上映する京都国際学生映画祭（11 月開催）の企画や運営を担います。学生監督だけでなく、映画関係者や海外からの招待者とも交流を図ることができます。



京都国際学生映画祭実行委員会（京都シネマで）

インターンシップ に参加しよう！

大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラムは、就職活動としてのインターンシップではなく、大学における学びの一環として位置づけ、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした教育プログラムとして、全国に先駆けて 1998 年度に開始しました。単なる職業体験にとどまらず、実践から「働く」を考え、社会人基礎力を育成するカリキュラムを持ったキャリア教育として、受講生からも高い評価を得ています。



インターンシップ・プログラム コース紹介

▶ プロGRESSコース

約 5 ヶ月間、企業・行政機関・非営利組織（NPO・NGO 等）が提示したテーマを実現するプロジェクト型のコースです。プロジェクトを通して、さまざまな角度から実社会を見つめ、現状を把握する力、課題を発見する力、その課題を解決する力を身につけることを目指しています。

▶ ビジネス・パブリックコース

企業・行政機関・非営利組織（NPO・NGO 等）において 2 週間～1 ヶ月程度の実習を行う短期実践型のコースです。事前学習、実習、事後学習という体系化された学習プログラムを通じて、実社会への理解を深め、社会性を身につけるとともに、実習後の学生生活における課題の整理と目標を明らかにすることを目指しています。

京都から発信する政策研究交流大会

大会の企画、運営、広報を行う学生実行委員を募集しています！

京都から発信する政策研究交流大会は、京都の大学生が政策研究や学修成果の発表を行う大会です。学生実行委員は、政策系学部の教員を中心に構成する都市政策研究推進委員会から助言をいただきながら、発表者の募集から大会当日まで、参加者がスムーズに発表できるよう活動を支援しています。大会当日は、発表する学生の分科会運営に加え、学生実行委員会の企画による講演・ワークショップなどの「学生企画」も開催します。大会を盛り上げるため、一緒に活動しませんか？



京都学生広報部～リアルな京都の魅力を発信中～

学生広報部員、募集中です！

京都学生広報部は大学生の視点で、「大学のまち・学生のまち京都」の魅力を、将来大学生になる全国の中高生に発信することを目的に活動する学生団体です。学生生活を送る中で実感するリアルな京都の魅力や大学生活など京都で学ぶ大学生が記者となり、企画・取材・記事作成をしています。また、部員のスキル向上のため、広告業界で活躍するプロフェッショナルによる研修会も行っています。興味のある方は、WEB サイト「コトカレ」をご覧ください、ぜひ一緒に活動しましょう！



WEBサイトはこちら ▶▶▶ 「コトカレ」 <https://kotocollege.jp/>